

📷 着られなくなった服を次の世代へ
こどもクローゼット



▲次回は 11 月に秋・冬服の交換会を開催予定です

6月6日、子育て交流センターでしあわせ応援団事業「こどもクローゼット」が行われ、約150人が来場しました。

同イベントは子どもの成長で着られなくなった服をみんなで交換する子供服のお下がり交換会で、子育て世代を応援する事業として年に2回行われています。

当日は持ち込みいただいた50～160cmの春・夏物の子ども服が並び、参加者からは「子どもはあっという間に成長する。無料でこのような交換会があるのはとても嬉しい」との声が聞こえました。

📷 地域の課題解決のきっかけづくりに
地域づくりセミナー

6月15日、函南町役場で「地域づくりセミナー」が行われ、各地区の役員など66人が参加しました。

講師に高崎経済大学地域政策学部の櫻井常夫教授を招き、「これからの地域づくりへのヒント」をテーマに講演を行いました。

櫻井教授は、地域の課題を明確にすること、そしてその解決にむけてどのように地域づくりを展開していくかを分かりやすくし、共有することが重要と話し、参加者からは「いいヒント・アドバイスを貰えた」、「また来てもらって、より深い話を聞きたい」などの声が聞こえました。



▲地域づくりの展開について講演をする櫻井教授

📷 買い物ついでに健康チェック
函南健康キャンペーン



▲買い物帰りの多くの人が参加しました

6月18日、マックスバリュ函南店で「函南健康キャンペーン」が行われました。

同イベントはマックスバリュ函南店との合同開催で、血管年齢チェックや食育月間にちなんだ一日に必要な野菜の摂取量クイズ、丹那牛乳など地場産品を使った健康メニューの試食、特定健診のPRなどが行われ、多くの買い物客が足を止めてイベントに参加しました。

参加者のひとは「こうやって買い物のついでや無料でできると気軽にやってみようという気持ちになる」と話してくれました。

📷 ニュースポーツで仲間との親睦を
第5回 文化センターペタンク大会



▲ナイスショット連発で大いに盛り上がりました

5月25日、文化センターで「第5回文化センターペタンク大会」が行われ、8歳～89歳の幅広い年代の64人が参加しました。

ペタンクは目標球にボールを投げ合って、相手のボールより近づけることで得点を競うニュースポーツです。同大会は仲間とのふれあいや運動のきっかけ作りを目的として行われ、投球のたびに熱い声援が送られる試合となりました。

参加者からは「親しみやすい競技だった。来年も参加したい」との声が聞こえました。

📷 今年の糖度は12度以上
函南西瓜目ぞろえ会



▲生産者や市場関係者と等級基準の確認を行いました

5月31日、JA三島函南 函南支店出荷場で函南町の特産品「函南西瓜」の目ぞろえ会が行われました。

目ぞろえ会は生産者、市場関係者、農協職員により出荷するスイカの大きさや形状、傷、へこみによる外観、たたいた音などで中身を確認し、「秀」「優」「良」の3つの等級と重さによる階級の基準を統一します。

今年は4月の低温や寒波のため交配には非常に苦労しましたが、その後は順調に生育。糖度12度以上の甘みの強い函南西瓜となりました。

📷 大雨による土砂災害を想定
日守区土砂災害対応防災訓練



▲避難者リストを確認する日守区の役員

6月2日、日守区・日守公民館で「土砂災害対応防災訓練」が行われ、日守区民、県・町職員、ボランティア団体など約80人が参加しました。

訓練では前日深夜からの降雨により、土砂災害発生の危険性が高まり、避難準備・高齢者等避難開始・避難勧告が順次発令されたことを想定し、避難所の日守公民館への誘導、避難者の受け付けなどを行いました。

避難後は県職員による土砂災害から身を守るための講習などが行われ、災害発生時の対応を確かめました。